

令和5年 第3回 根室市教育委員会 会議録

1. 非公開案件の審議（会議録省略）

- (1) 議案第11号 根室市文化財調査委員会委員及び臨時委員の任命について
結 論 原案どおり決定
- (2) 議案第12号 道費負担教職員の任免に係る内申について
結 論 原案どおり決定
- (3) 議案第13号 教育上特別な支援を必要とする児童の教育措置に係る諮問について
結 論 原案どおり決定
- (4) 報告第5号 教育上特別な支援を必要とする児童の教育措置決定について
結 論 原案どおり決定

その他

1. 学校給食について

<教育長>

学校給食について、3月中に最終意見書の報告を受けまして、その後、教育委員会事務局内部で検討をして、最終的には教育委員会の会議でこういう方向で行くという決定をしていくこととなります。皆様から何かお気づきのことがございましたら、ご意見をいただきたいと思えます。

<委員>

美味しく、量を増やせ、安くしろということを全て達成するのは全部反対方向の話ですので無理なのではと個人的には思っています。これを踏まえた上で交渉をこれからしていくとは思いますが、どこを妥協するのかというところは心配に思えます。

<教育部長>

アレルギーの話がかなり委員さんから出ていまして、今は調理する鍋も一緒にできないとか、完全に別ラインを作る必要があり、他の子の食べているものと食器ももちろんですけど、鍋や調理器具まで全て別にしなければならないという状況です。

そこを自賄いでやると、設備投資、人件費の面で大変ですが、今後もアレルギーの対応は避けられないのではないかと委員さんの中でもいろいろと悩みながら考えていただいているところでは。

<委員>

アレルギーとまとめても、除去食がたまごの子もいたり、小麦の子もいたりそれぞれですが、1人ずつ対応していくことを目指すということでしょうか。

<教育部長>

そうですね。ただそれら全てを自賄いでやっている自治体はないと伺っており、3回目の検討委員会でスクールランチの試食を行いました。そのときに説明があったのがパンや牛乳ですとか特定の食材のアレルギーのある子の対応食は作れますが、複数に及ぶ複雑な子供さんの場合は、残念ながらお弁当でお願いしますということでした。

除去食の対応がかなりできるようになってきているという報告もありまして、みんなと一緒にお弁当ではなく給食を食べられるのであれば、そういう環境を作ってあげたいという意見があったところです。

<委員>

中にはちょっとなら大丈夫とか完全にアウトという子もいますので、どういうふうに線引きしていくかすごく複雑そうですね。

<教育部長>

少しでもあると、その日は他のものも食べられなくて、すべて弁当に変わる仕組みなので、その辺も何とか少しでも食べられないのかと様々な話が出ておりました。

<教育長>

その辺が大きな観点になってくるのではないかと思います。意見書を踏まえて教育委員会事務局の方で方向性を明確にしていきたいと思います。その際の審議をよろしくお願い致します。

子どもたちの冬季間の体力づくりについて

<教育長>

子どもたちの冬季間の体力向上について何かアイデアがございましたらお願いします。

<委員>

先日、観光協会の視察で網走のコネクトリップというところに行ってきました。コネクトリップという団体で民間ガイド、根室でいうトコロジストになりますが、トコロジストのやることを増やしたようなものでして、流氷カヌーでしたり、冬の草原をファットバイクで走る、あとスノーシュー、かんじきで、ただそこら辺を散歩するというものです。観光客を相手に、網走の自然を堪能してもらうものですが、もう一つの目的として、地元の小中学生に網走の自然の素晴らしさを教える目的があります。

確かに僕も小中学生の頃は根室の自然の素晴らしさって全然経験してこなかったなと思ひまして、かんじきも体験してきたんですけど、正直、根室だったらどこでもあるようなものなんです。それをただ数千円のかんじきを履かせて歩かせるだけで、こうも感動させるものなんだなと感じました。一つのスポーツという部分ではなくて、郷土愛の熟成事業と合わせて体力向上を図る。そういった考えも面白いのではないかと思います。

<委員>

雪上大運動会などはどうでしょうか。雪かきをしていない状態で 100m 走や大玉転がし等、足の速い子も雪の上では足が取られて、足の遅い子が勝つ可能性もある。

砂の上を走るのはすごい体力使うので、雪の上も同じで体力がつくのではないかと思っています。寒いのは暖かくして、低学年向けになるかもしれませんが雪と遊ぶという感じで楽しむということ漠然としていますでしたが考えていました。

<委員>

もっとハードルを下げて、本当にスポーツや体を動かすことが嫌いな子の体を動かす方法を考えてみたのですが、スポーツ好きな子は運動会に行こうとなると思いますが、本当にスポーツ嫌いな子やインドア派の子をどうにかできないかということで、大きいプロジェクターを使って Switch Sports 大会等を考えていました。ある程度スペースがないとぶつかったり、あとテレビが小さいと見えないこともあるので、大きいプロジェクターでスペースも確保できて、寒くないところでスイッチというと、体を動かすことが好きではない子も参加したい気分になるかなと思いました。

<委員>

基本的には人間は歩くということが運動になると思いますので、まず学校の登下校はきちんと歩くということをするべきだと思います。距離によるでしょうけど、往復で学生の運動量としては最低レベルくらいまでいくのかなと思います。

中学3年生の頃、私が新潟にいたときに、冬ではないですけど、全市内の中学生が集まる運動会が年に1回ありました。そうすると今まで競争したことがないと相手と運動したりとかできませんし、対抗意識もあって皆さん一生懸命頑張るのかなと思います。設備の問題ですとか、どのぐらいの人間を集められるのかということは何とも言えないですが、全市内の小学生だとか中学生をまとめて大運動会みたいのを開ければ、スポーツの部分も、あと各学校とのコミュニケーションの取り方ですとか、ある程度ライバル意識も働くので一生懸命やるのかなというところもありますので、具体的に進めていけば面白いのかなと思います。

<教育長>

かんじきの指導を子どもが観光客にするとか、雪上運動会も面白いなと思います。要するにこれから部活動が地域移行していくときに部活という決められたものだけじゃなくて、段々と子どもが減っていくなか、どうやって文化・スポーツに触れさせる教育環境を作っていくかといったときに、多様な運動させるということについてはそういった面でも広がっていくかなと思いましたし、スイッチもいきなり今年は難しいですが、こどもの日に集まってきたときに大画面で行うとか、そういったところに発展できるかなと思っています。

本日は貴重なご意見ありがとうございました。全て取り入れられるかわかりませんが、これから色々と検討していきたいと考えております。

次回の意見交換について

<教育長>

この3年間はずっとコロナで、外と関わらないことが学校で当たり前になってしまっています。地域の方ともあまり関わらず、何もしない、遠ざけるということが当たり前になってしまって、要するに3年前の感覚を戻せない状況です。

そこで、学校と社会教育全体を含め、アフターコロナの学校でどうしていけばいいのかということについてご意見いただきたいと思います。

<教育長>

その他なにかございますか。

(特になし)

<教育長>

別にご発言もなければ、以上をもちまして、本日の委員会に付議されました議件の審議は全て終了いたしました。これをもちまして、令和5年第3回根室市教育委員会の会議を閉会いたします。

午前11時00分 閉会